知的障害特別支援学校における

読み聞かせに関する研究

愛媛大学教職大学院教育実践高度化専攻 特別支援教育コース 伊藤 理 指導教員 告松 靖文 樫木 暢子

I. 問題と目的

1段階の児童について

児童の姿	言葉が存在すること、言葉を使うことで相手の反応に変化があることに気付き始める段階
□ +æ	言葉をイメージする力, 言葉による関わりを受け止める力を養う 〔思考力・判断力・表現力等〕
目標	言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、 言葉を使おうとする態度を養う
	[学びに向かう力・人間性等]

「特別支援学校学習指導要領解説」(文部科学省, 2019)

I. 問題と目的

本研究の目的

1 読み聞かせに関する 意識調査 (芦田・松島, 2014)

2 読み聞かせの実践とビデオ分析





読み聞かせの実態 教員の意識・ICTの活用 児童の変容 効果的な支援の在り方

Ⅱ.方法

1. 読み聞かせに関する意識調査

対象:知的障害特別支援学校小学部教員60名

アンケート項目:17項目 Googleフォームによる回答

1	回答者の属性	10	題材,絵本を選ぶ際に重視していること
2	教員経験年数	11	絵本を読む際に意識していること
3	特別支援学校勤務年数	12	今年度,読み聞かせにおいてICT教材を活用しているか
4	読み聞かせを行っているか	13	活用している(活用してみたい)教材の種類
5	読み聞かせの頻度	14	ICTを使った読み聞かせについて肯定的か否定的か
6	読み聞かせの時間帯	15	質問14のように考える理由
7	読み聞かせを行っていない理由	17	 児童の言語感覚やコミュニケーション能力を育むため
8	読み聞かせは児童の発達に効果的であるか	16	に工夫している活動・効果があった活動事例
	読み聞かせが児童の発達に効果的であると 考える理由 (飯野,2017)	17	読み聞かせやコミュニケーション能力を育む活動に関 しての質問,意見,悩み

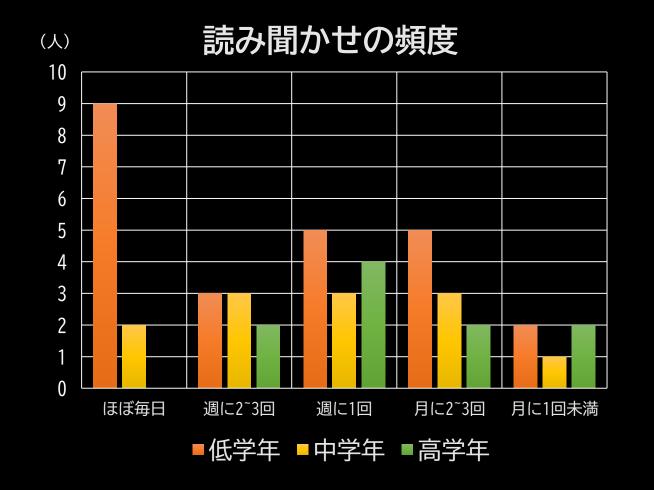
Ⅱ. 方法

2. 読み聞かせの実践とビデオ分析

対象:知的障害特別支援学校小学部1年生男児A 知的障害を伴う自閉スペクトラム症

実施期間・回数 20XX年6月~12月(週1回) 計17回 5校時終了後,帰りの会前の時間

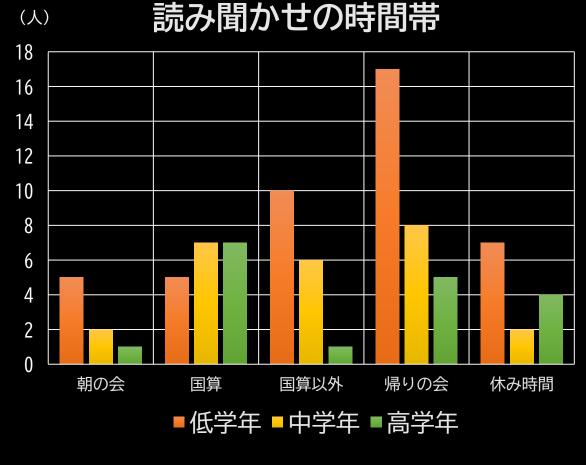
- 1. 読み聞かせに関する意識調査
- (1) 読み聞かせの頻度と時間帯



読み聞かせが日常的に行われている

低学年…日々の活動の中で自然に

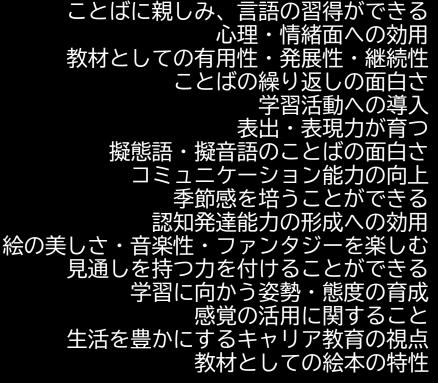
高学年…教科学習の中で個に応じて

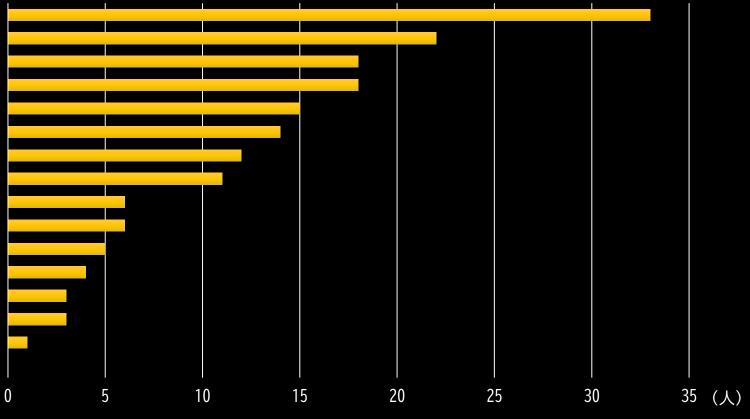


- 国語科のねらいが重視されている
- 1. 読み聞かせに関する意識調査
- (2) 読み聞かせに関する教員の意識

各教科を合わせた指導においても, 単元構成の一部として取り入れられ ている

読み聞かせが児童の発達に効果的であると考える理由

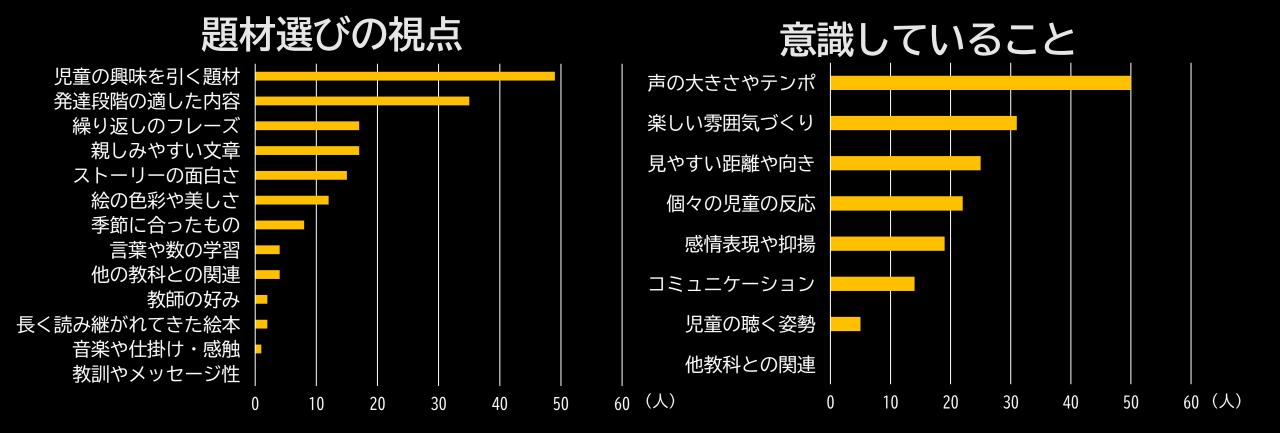




- 1. 読み聞かせに関する意識調査
- (3) 読み聞かせに関する教員の意識

実態把握→発達段階に合わせた量・ ストーリーを考慮

合理的配慮の観点に基づいた提示法



- 1. 読み聞かせに関する意識調査
- (4) ICTを活用した読み聞かせ

活用する予定 はない 活用して 13.8% いる 37.9% 活用したことはないが、 今後活用してみたい 48.3%

多くの教員が、ICT機器の活用が有効であると捉えている

<u>児童が興味をも</u>ちやすい

意欲が高まる

注目する

音や動きの効果で児童がイメージ しやすい

こだわりのある児童の興味・関心を広げたり、視覚優位の児童の集中力を持続させたりするのに有効 (久保ら,2012)

児童の興味を引く、発達段階に応じたもの

2. 読み聞かせの実践とビデオ分析

親しみやすいフレーズ

(1) 読み聞かせに使った絵本

言葉の繰り返し

季節

回	題名	著者出版社		発行年
1	いもほりバス	藤本ともひこ	鈴木出版	2009
2	ピン・ポン・バス	竹下文子・鈴木まもる	偕成社	1996
3	Peek-a-Boooo!	Marie Torres Cimarusti	DuttonJuvenil	2005
4	どんぐりころちゃん	正高もとこ	鈴木出版	2016
5	やさいさん	tupera tupera	学研プラス	2010
6	あぶない!	ラビッツアイ	チャイルド社	2013
7	いち・にい・サンタ	ひらぎ みつえ	ほるぷ出版	2018
8	やさいさん (2回目)	tupera tupera	学研プラス	2010

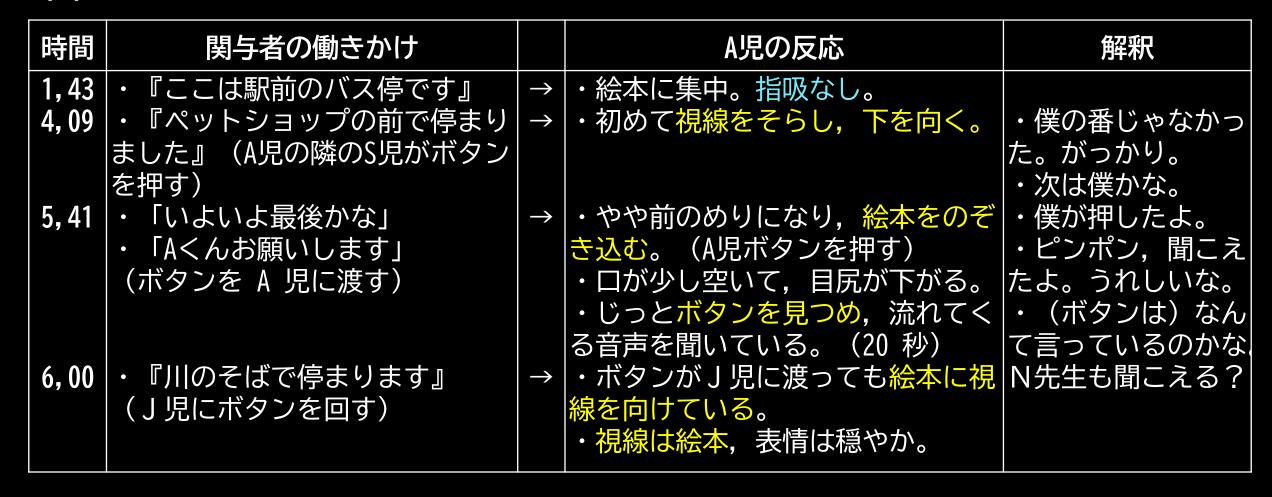
- 2. 読み聞かせの実践とビデオ分析
- (1) 読み聞かせに使った絵本

児童の興味を引く 発達段階に応じたもの

回	題名	著者出版社		発行年
1	いもほりバス	藤本ともひこ	鈴木出版	2009
2	ピン・ポン・バス	竹下文子・鈴木まもる 偕成社		1996
3	Peek-a-Boooo!	Marie Torres Cimarusti DuttonJuvenil		2005
4	どんぐりころちゃん	正高もとこ 鈴木出版		2016
5	やさいさん	tupera tupera 学研プラス		2010
6	あぶない!	ラビッツアイ	チャイルド社	2013
7	いち・にい・サンタ	ひらぎ みつえ	ほるぷ出版	2018
8	やさいさん (2回目)	tupera tupera	学研プラス	2010

2. 読み聞かせの実践とビデオ分析

(2) トランスクリプト 第2回 『ピン・ポン・バス』(一部抜粋)



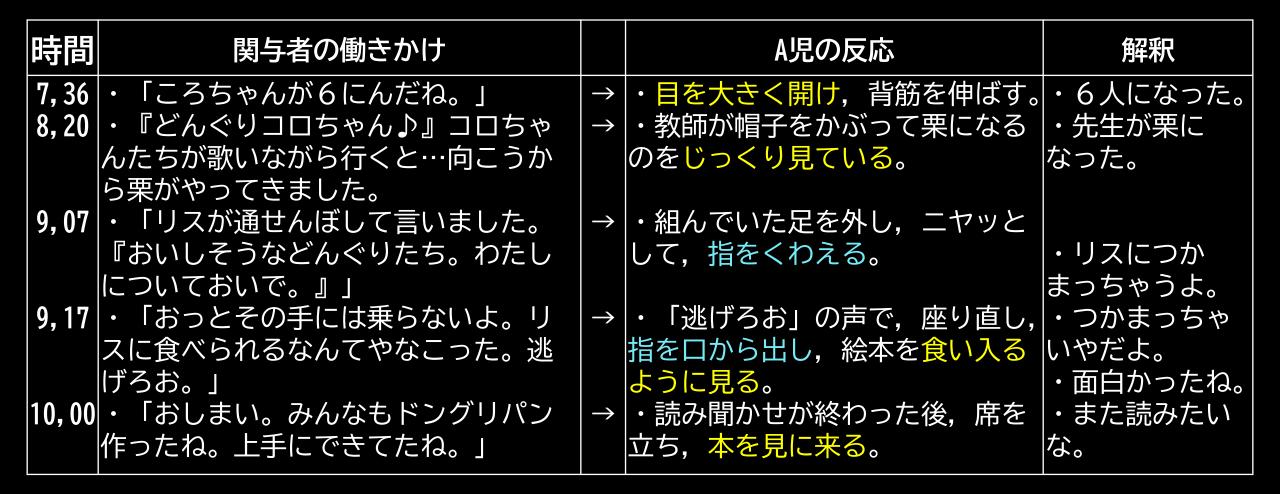
- 2. 読み聞かせの実践とビデオ分析
- (1) 読み聞かせに使った絵本

季節感を培うもの

回	題名	著者 出版社 党		発行年
1	いもほりバス	藤本ともひこ	鈴木出版	2009
2	ピン・ポン・バス	竹下文子・鈴木まもる	偕成社	1996
3	Peek-a-Boooo!	Marie Torres Cimarusti	DuttonJuvenil	2005
4	どんぐりころちゃん	正高もとこ 鈴木出版		2016
5	やさいさん	tupera tupera	学研プラス	2010
6	あぶない!	ラビッツアイ	チャイルド社	2013
7	いち・にい・サンタ	ひらぎ みつえ	ほるぷ出版	2018
8	やさいさん (2回目)	tupera tupera	学研プラス	2010

2. 読み聞かせの実践とビデオ分析

(2) トランスクリプト 第4回 『どんぐりころちゃん』(一部抜粋)





- 2. 読み聞かせの実践とビデオ分析
- (1) 読み聞かせに使った絵本

Aが大きく反応を示した 題材

回	題名	著者	出版社	発行年
1	いもほりバス	藤本ともひこ 鈴木出版		2009
2	ピン・ポン・バス			1996
3	Peek-a-Boooo!	Marie Torres Cimarusti	DuttonJuvenil	2005
4	どんぐりころちゃん	正高もとこ 鈴木出版		2016
5	やさいさん	tupera tupera	学研プラス	2010
6	あぶない!	ラビッツアイ	チャイルド社	2013
7	いち・にい・サンタ	ひらぎ みつえ ほるぷ出版		2018
8	やさいさん (2回目)	tupera tupera	学研プラス	2010

- 2. 読み聞かせの実践とビデオ分析
- (2) トランスクリプト 第5回 『やさいさん』(一部抜粋)



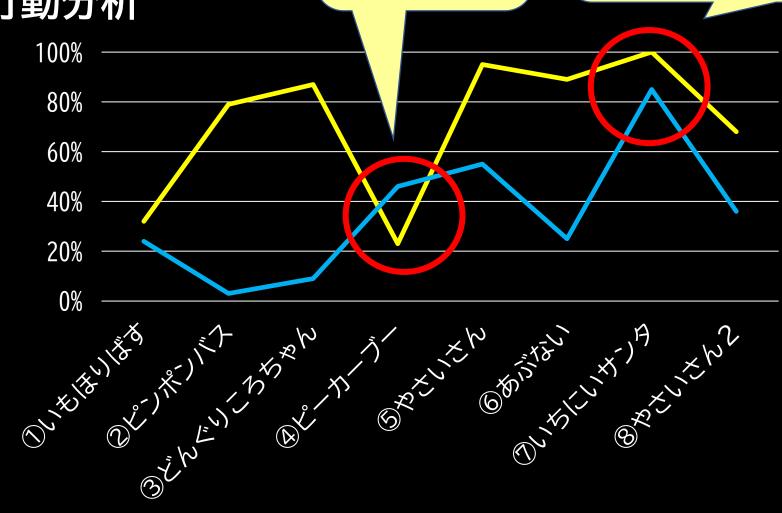
時間	関与者の働きかけ		A児の反応	解釈
	・「やさいさん,やさいさん,だ あれ?」で間を取り,「だあ れ?」と声をかけながら仕掛けを めくる。「すっぽーん」	\rightarrow	・本をよく見ている。指吸。・「すっぽーん」の声と,仕掛けをめくるのと同じタイミングで,さっと指を口から出し,前傾姿勢になる。	
3, 30	・「サトイモさんだね。ゴロゴロ しているね。」	\rightarrow	・教師の声に合わせて両手を打ち付ける。仕掛けをめくるのに合わせ体を少 し反らせたり、視線を上に向けたりす る。	イモ」という野
	「おやおや、もぐらさんでしたカーナの中から出てきまね。」	\rightarrow	・もぐらが出てきた後、口をパクパク	・野菜じゃない
4, 47	ね。土の中から出てきたね。」 ・「うわあ。サツマイモさん。」 「みんなもこんなに出てきた? <u>」</u>	\rightarrow	・視線を上げる。	じゃん!! ・ぼくもほった よ。

2. 読み聞かせの実践とビデオ分析

(3) 読み聞かせ中の行動分析

視線があう 〔興味・関心)

指吸あり (ストレス・ 不安・集中)



おばけは怖い

見たくないけ

ど見てみたい

サンタさんが踊っ

プレゼントがいっ

ているよ

ぱいだなあ

IV. 総合考察

【意識調査から】

国語の力を育てるにあたって、実際教師はどのような意識をもって読み聞かせを使っているのかが明らかになった。

- ・児童の実態に合った題材
- ・日常的な読み聞かせ
- ・ICTを活用した読み聞かせを 肯定的に捉えている教員が多い

- ・ICTは支援のための
- 一つのツール
- ・児童の表情や視線を 観察しながら働きかけ ていくことが大切

(久保ら, 2012)

IV. 総合考察

【読み聞かせの実践とビデオ分析から】 児童の興味関心に合った題材や,読み聞かせの手法を 工夫することで,児童の「聞きたい・見たい」という意 欲を高めることができた。

児童の見せる 小さな変容から 内面を捉える 生き生きした言葉と して教師が言語化し, 本人と共有

言葉の世界を豊かにする

V.今後の課題

「障害の程度が違う児童たちにとって,市販の絵本等をどのように読み聞かせすれば効果的か分からない。」「いろいろな絵本を取り上げて,ジャンルの幅をもたせたいが難しい。」 (読み聞かせに関する意識調査,自由記述欄より)

ICT機器の活用が有効であると考えている教員が多いことから, ICT機器の有効性と問題点を明らかにする

児童の実態や発達段階を考慮した、豊かな読み聞かせの在り方 や子どもの内面を読み取り、言語化につなげる行動観察の視点 を明確にする

引用文献

- 芦田朗子・松島明日香(2014).特別支援学校における絵本の読み聞かせに関する実態調査 奈良教育大学紀要,63-1,77-86.
- 飯野順子(2017). 障害の重い子どもの授業づくりPART7 ジアース教育新社.
- 久保聡・金森強・中山晃(2012). ICTを利用した特別支援学校における 外国語活動 小学校英語教育学会誌,124,4-18.
- 松村奈美(2021). 表出の少ない自閉症児とのコミュニケーションを広 げる関わり 愛媛大学教職大学院実践研究報告書,第5号.
- 文部科学省(2019). 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部) 開隆堂出版株式会社